



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 安弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,171	1.4	373	12.2	369	9.4	257	20.8
2022年3月期第2四半期	4,112		425		408		213	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 285百万円 (29.4%) 2022年3月期第2四半期 220百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	203.31	
2022年3月期第2四半期	168.33	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,522	3,320	28.8
2022年3月期	11,807	3,098	26.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,320百万円 2022年3月期 3,098百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	0.6	500	5.5	460	5.4	320		252.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,286,199 株	2022年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	17,931 株	2022年3月期	17,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,268,356 株	2022年3月期2Q	1,268,610 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、供給制約や原材料価格の高騰などによる下振れリスクが懸念され、製造業においては景況感が後退、コロナ収束後のサービス消費回復を受け非製造業では改善と二極化の傾向となりました。

世界経済については、欧米を中心にインフレの急速な進行と金融引締めによる金利上昇により経済成長が停滞し、インフレ下での景気後退リスクが引き続き高まっております。

このような状況の下、当社は前年度の好調な売上高を継続することに注力し、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,171百万円と前年同四半期に比べ58百万円(1.4%)の増加となりました。

また、精密機器事業をはじめ各事業で生産効率化等により、計画を上回る原価低減を実現しましたが、医療機器事業の一部品目にかかる生産調整による採算低下や、部材高騰の影響が一部顕在化したことにより全体の原価率が上昇し、営業利益は、373百万円と前年同四半期比で51百万円(△12.2%)の減益、経常利益は営業外収支の改善もあり、369百万円と前年同四半期比で38百万円(△9.4%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は257百万円と前年同四半期比で44百万円(20.8%)の増益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

#### ① 医療機器事業

主力のコンドーム事業は生産調整等により減収となりましたが、新素材コンドームSKY Nや検査薬等の商品群の好調な売上により補完しました。また、メディカル製品は欧州向けの販売が好調で事業売上を牽引しました。

利益面では不採算製品の見直し、販売費節減へ継続的に取り組み一定の成果がみられました。また、メディカル製品につきましては、生産部門・販売部門一体となった効率化、費用削減、生産歩留まり向上策により、前期比増益となりました。

この結果、売上高は1,245百万円と前年同四半期に比べ102百万円(8.9%)の増加となりました。

セグメント損益は、主にコンドーム在庫の洗替評価実施に伴う原価増要因により、54百万円の損失(前年同四半期は24百万円の損失)となりました。

#### ② 精密機器事業

精密機器事業は業績が非常に好調であった前期実績と比べて減収減益となりましたが、幅広い業種の取引顧客基盤を活かして、部材不足等による一般産業機械市場の需要減を住宅関連市場向け等で補完することにより、社内業績計画は順調に進捗しております。

物価高による消費低迷や金融引き締め策による景気後退懸念など受注減少要因が顕在化しつつありますが、とりわけ海外向け取引では昨年同様、売上が好調に推移しました。

利益面では売上減少に伴う減益に加えて、原材料費高騰による製造費用の上昇や、生産品目の構成変化に伴う生産効率の差異が要因となり、原価率は社内計画値を達成しているものの、前期実績対比では上昇しました。

この結果、売上高は2,596百万円と前年同四半期に比べ99百万円(△3.7%)の減少となりました。

セグメント利益は、600百万円と前年同四半期に比べ70百万円(△10.5%)の減益となりました。

#### ③ SP事業

新型コロナウイルス感染症の売上への影響は第2四半期で概ね収束しました。海外からの部材調達の遅れや屋外利用を想定した販促市場向けの需要の回復が弱含んでいるなどの下押し要因を、主力取引先での需要回復や新商品の投入効果が上回り、主力品のゴム風船及びフィルムバルーンの売上は概ね計画通りに推移し、前年比増収増益となりました。

この結果、売上高は193百万円と前年同四半期に比べ25百万円(15.4%)の増加となりました。

セグメント利益は、10百万円の利益(前年同四半期は5百万円の損失)となりました。

#### ④ 食品容器事業

主力取引先における季節商品やネット販売が好調に推移したことにより、売上高は134百万円と前年同四半期に比べ30百万円(29.0%)の増加となりました。

セグメント利益は、前期発生した設備投資・修繕等の一時的要因が今期は解消したことや販売単価の一部引上げ効果もあり、46百万円と前年同四半期に比べ31百万円(205.2%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、11,522百万円となり、前連結会計年度末と比べ285百万円減少しました。

主な増加要因は、電子記録債権87百万円、原材料及び貯蔵品114百万円などであり、主な減少要因は、現金及び預金109百万円、受取手形及び売掛金142百万円、仕掛品139百万円などです。

負債総額は8,202百万円となり、前連結会計年度末と比べ506百万円減少しました。主な増加要因は、電子記録債務103百万円などであり、主な減少要因は、短期借入金210百万円、未払法人税等80百万円、長期借入金140百万円などです。

純資産総額は3,320百万円となり、前連結会計年度末と比べ221百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金194百万円の増加などです。この結果、自己資本比率は28.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,463百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ9百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、405百万円の収入（前年同四半期は777百万円の収入）となりました。

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益362百万円、減価償却費177百万円、仕入債務の増加132百万円などであり、主な減少要因は、法人税等の支払額147百万円などです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、23百万円の支出（前年同四半期は34百万円の支出）となりました。

資金の主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出16百万円などです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、515百万円の支出（前年同四半期は598百万円の支出）となりました。

資金の主な減少要因は、短期借入金の純増減額210百万円、長期借入金の返済による支出180百万円、配当金の支払額63百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の2022年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,905,060	1,795,896
受取手形及び売掛金	1,904,957	1,762,613
電子記録債権	561,528	649,433
商品及び製品	519,724	571,157
仕掛品	615,852	476,138
原材料及び貯蔵品	730,104	844,324
その他	69,819	101,947
貸倒引当金	△40	△68
流動資産合計	6,307,005	6,201,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,508,797	2,431,202
土地	1,777,096	1,777,718
その他(純額)	620,609	544,623
有形固定資産合計	4,906,503	4,753,544
無形固定資産	46,404	39,840
投資その他の資産	536,935	518,524
固定資産合計	5,489,842	5,311,910
繰延資産	10,762	9,076
資産合計	11,807,610	11,522,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,434	332,580
電子記録債務	975,539	1,079,263
短期借入金	2,893,000	2,683,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	361,332	321,332
未払法人税等	163,403	83,072
賞与引当金	198,411	165,746
その他	580,248	541,477
流動負債合計	5,674,368	5,406,472
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,930,188	1,789,522
退職給付に係る負債	69,253	64,483
その他	635,381	541,747
固定負債合計	3,034,823	2,795,752
負債合計	8,709,191	8,202,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	1,852,738	2,047,193
自己株式	△39,921	△40,319
株主資本合計	2,704,280	2,898,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,972	88,964
土地再評価差額金	288,295	288,295
為替換算調整勘定	20,204	36,232
退職給付に係る調整累計額	9,666	8,376
その他の包括利益累計額合計	394,138	421,869
純資産合計	3,098,418	3,320,206
負債純資産合計	11,807,610	11,522,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,112,237	4,171,072
売上原価	3,023,722	3,158,552
売上総利益	1,088,514	1,012,519
販売費及び一般管理費	663,339	639,066
営業利益	425,174	373,453
営業外収益		
受取利息	159	7
受取配当金	4,157	4,966
受取賃貸料	6,124	6,798
為替差益	—	4,527
補助金収入	17,830	17,270
その他	2,774	3,919
営業外収益合計	31,046	37,490
営業外費用		
支払利息	34,868	30,093
賃貸費用	1,943	1,987
シンジケートローン手数料	4,156	4,474
為替差損	3,669	—
その他	3,017	4,415
営業外費用合計	47,656	40,971
経常利益	408,565	369,972
特別損失		
固定資産除却損	0	10
減損損失	67,493	7,523
特別損失合計	67,493	7,533
税金等調整前四半期純利益	341,072	362,438
法人税、住民税及び事業税	126,706	69,710
法人税等調整額	816	34,849
法人税等合計	127,523	104,560
四半期純利益	213,548	257,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,548	257,878



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	213,548	257,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	12,992
為替換算調整勘定	9,098	16,027
退職給付に係る調整額	△2,033	△1,289
その他の包括利益合計	7,211	27,731
四半期包括利益	220,760	285,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,760	285,609
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	341,072	362,438
減価償却費	231,361	177,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	27
減損損失	67,493	7,523
受取利息及び受取配当金	△4,317	△4,974
受取保険金	△25	△1,000
支払利息	34,868	30,093
シンジケートローン手数料	4,156	4,474
社債発行費償却	1,033	1,685
有形固定資産除却損	0	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,405	54,626
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,297	△24,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	255,457	132,778
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,653	△32,664
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,605	△37,268
その他	24,492	△94,062
小計	829,907	577,421
利息及び配当金の受取額	4,317	4,974
保険金の受取額	25	1,000
利息の支払額	△34,634	△29,992
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△21,702	△147,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	777,914	405,779
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△32,003	△16,561
無形固定資産の取得による支出	△2,779	△3,784
投資有価証券の取得による支出	△2,577	△3,250
その他	2,581	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,778	△23,561
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△310,000	△210,000
長期借入金の返済による支出	△270,666	△180,666
シンジケートローン手数料の支払による支出	△1,157	△1,298
リース債務の返済による支出	△79,360	△60,281
セール・アンド・リースバックによる収入	125,950	—
自己株式の取得による支出	△549	△398
配当金の支払額	△63,022	△63,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△598,806	△515,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,374	21,833
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	152,704	△111,776
現金及び現金同等物の期首残高	1,320,024	1,575,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,472,729	1,463,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,143,672	2,696,094	167,957	104,513	4,112,237	—	4,112,237
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,143,672	2,696,094	167,957	104,513	4,112,237	—	4,112,237
セグメント利益 又は損失(△)	△24,140	671,374	△5,123	15,317	657,427	△232,253	425,174

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,253千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において土地67,493千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,245,794	2,596,662	193,811	134,804	4,171,072	—	4,171,072
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,245,794	2,596,662	193,811	134,804	4,171,072	—	4,171,072
セグメント利益 又は損失(△)	△54,619	600,702	10,556	46,742	603,382	△229,929	373,453

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△229,929千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。